

生活指導だより

平成24年10月12日

練馬区立早宮小学校

生活指導担当 菅野 泰弘

十月も半ばとなり、2学期制の学期末を迎える時期となりました。本格的な秋の訪れとともに朝晩の冷え込みも感じられるようになり、体調が万全でない子供も見られます。子供も大人も体調管理を大切にして、健康的な毎日を過ごせるようにしていきましょう。

来週の月曜日、15日からは、「早宮小だより」でもお伝えしたように秋の「あいさつ運動」が始まります。10月の学校生活目標「すすんであいさつをしよう」のもと、子供の気持ちのよいあいさつが交わされる学校生活・地域でのかかわりを目指して、学校全体で取り組んでいきます。校外委員会の役員の方々のご協力もいただきます。どうぞよろしくをお願いします。

さて、今回は、子供たちの学校内外での様子を受けて、「交通安全」と「安全・安心な遊び方」についてお知らせします。ぜひこの機会に、これまで以上に大切なこととして捉え、子供たちと一緒に考えていただければと思います。

自分の身は自分で守る 交通安全への意識

小学生の交通事故情報が多発しています。

練馬区では、9月から現在までに5件、そして近隣の板橋区では9月下旬に1週間に2件の報告がありました。そうした現状を受け、子供たちには2日（火）の全校朝会で「自分の身は自分で守りましょう。」「交通安全を考えて生活しましょう。」という内容の話をしました。

登下校中はもちろん、放課後の生活においても、歩行中や自転車に乗っているときに、以下のことを意識して生活していけるよう学校でも指導していきます。ご家庭でも、繰り返し交通安全への声かけをお願いします。



**自動車やオートバイ、自転車は急には止まれません。
交差点や十字路などでは、左右の安全をよくよく確かめよう。
自分が気を付けていても、相手が気が付かないことがあります。**

子供たちの遊び方 遊ぶ場所 遊ぶ時間

社会全体でコミュニケーション能力の育成が求められる現在、学校においても、子供たち同士が健全なかかわり合いがもてるよう導くことが大きな課題です。

健全にかかわり合うために大切な要素として、「安全な環境」「安心できる環境」があります。つまり、子供たちが安全で安心して遊ぶ環境づくりをすることが大切です。

目指す姿としては、常に大人が介入するのではなく、地域の中で子供たち同士で声をかけ合って関係づくりができるかかわり合いです。そのために、あらためてご家庭と子供とできちんと遊びの約束をすることを大切にしてほしいと思います。そして、子供たちのかかわり合い方や遊び方について、保護者同士が日常的に情報交換ができると、地域全体としてのよりよいかかわり合いにつながります。

**危険な遊び道具（エアガンなど）は絶対に使いません。
人気のない場所や、死角になる場所では遊びません。
夕焼けチャイムがなったら、全員で遊びをやめて帰りましょう。**